

2021年10月29日

上場会社名 京成電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9009 URL <https://www.keisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長 (氏名) 浅岡 祐介

TEL 047-712-7100

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

2021年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	104,156	4.7	3,727		6,801		7,786	
2021年3月期第2四半期	99,501	27.9	12,015		19,928		18,278	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 7,472百万円 ( %) 2021年3月期第2四半期 19,047百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	46.20	
2021年3月期第2四半期	108.38	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	886,639	386,200	41.6
2021年3月期	900,698	396,044	42.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 368,680百万円 2021年3月期 378,638百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		8.50		8.50	17.00
2022年3月期		8.50			
2022年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	229,200	10.3	2,400		2,200		5,300		31.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	172,411,185 株	2021年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	3,877,594 株	2021年3月期	3,877,555 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	168,533,608 株	2021年3月期2Q	168,657,320 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期決算補足説明資料は、当四半期決算短信に添付しております。

3.当社は、2021年11月18日(木)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)

2022年3月期の個別業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,100	22.1	2,200	—	3,900	—	3,300	—	19.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	P4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P5
(1) 四半期連結貸借対照表	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P7
四半期連結損益計算書	P7
四半期連結包括利益計算書	P8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P9
(継続企業の前提に関する注記)	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P9
(会計方針の変更)	P9
(追加情報)	P9
(セグメント情報)	P10
3. 四半期決算補足説明資料	P11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）の影響が大きく、個人消費、雇用情勢及び非製造業の一部における企業収益に弱さがみられるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、運輸業をはじめとした総合生活産業として必要な人員を確保しつつ、お客様及び従業員への感染防止の措置を講じた上で需要動向を踏まえ事業を運営しております。また、中期経営計画「E4プラン」の基本方針である「グループ経営強化による収益拡大の確実な実現」、「安全かつ安心なサービスの提供」、「社会的要請に対応した経営推進体制の確立」に基づき諸施策を推進してまいりました。

以上の結果、2020年度に引き続き、入国制限によるインバウンド需要の消失に加え、外出の自粛等による消費の低迷等の影響を受け、営業収益は1,041億5千6百万円（前年同期比4.7%増）となり、営業損失は37億2千7百万円（前年同期は営業損失120億1千5百万円、82億8千8百万円の改善）となりました。経常損失は、持分法による投資損失の計上により68億1百万円（前年同期は経常損失199億2千8百万円、131億2千6百万円の改善）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は77億8千6百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失182億7千8百万円、104億9千2百万円の改善）となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）の適用により、営業収益は84億3千6百万円減少しております。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

## &lt;運輸業&gt;

感染症対策として、政府公表の基本的対処方針等を踏まえ、従業員のマスク着用、消毒、換気及びお客様が手を触れる箇所を中心とした鉄道・バス車両等への抗菌・抗ウイルス加工の実施に加え、鉄道業を中心とした新型コロナワクチンの職域接種を6月21日より開始し、完了いたしました。

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、2018年度より進めていた列車無線設備更新工事が一定程度進捗し、より高品質な通話の実現が可能なデジタル方式の列車無線の使用を順次開始しております。また、高架橋の耐震補強工事及び西登戸駅の駅舎建替え工事等を進めました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、京成立石駅の仮駅舎新設工事を推進いたしました。

営業面では、感染症の影響に伴う社会情勢を踏まえ、2020年度に引き続き、スカイライナーの一部列車を運休したほか、青砥駅停車を実施いたしました。また、人気タレントが演じる「京成王子」をモチーフにした特別装飾のスカイライナーを7月より運行いたしました。さらに、コロナ禍での旅行需要に対応して、京成線全線が一日乗り降り自由となる「京成線ワンデーパス」等の企画乗車券を期間限定で発売いたしました。このほか、船橋～千葉（現 京成船橋～千葉中央）間の開業100周年を記念して、記念ヘッドマークを掲出した車両を運行したほか、記念乗車券の発売等を実施いたしました。

バス事業では、感染症の影響に伴う成田空港発着航空便の運休・減便や東京ディズニーランド及び東京ディズニーシーの入園者数の制限等を踏まえ、高速バス路線において運休・減便を2020年度に引き続き、実施いたしました。また、一般乗合バス路線においては、利便性向上を図るためのダイヤ改正等を実施したほか、京成トランジットバス株式会社において、運行開始20周年を記念して、期間限定で記念車両を運行しております。

また、バス事業及びタクシー事業の共通の取り組みとして、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、選手・スタッフ輸送を受注し、収益の確保に努めたほか、安全・円滑な輸送サービスの提供に寄与いたしました。

以上の結果、2020年度に引き続き、感染症の影響を受けた外出の自粛やインバウンド需要の消失等により、営業収益は563億8千2百万円（前年同期比14.6%増）となり、営業損失は74億5千9百万円（前年同期は営業損失154億1百万円、79億4千2百万円の改善）となりました。

## &lt;流通業&gt;

ストア業では、株式会社京成ストアにおいて、「リブレ京成松飛台店」を新たにオープンしたほか、八千代市内等において移動訪問販売事業を拡大いたしました。また、株式会社コミュニティ京成において、収益拡大を図る

ため「ファミリーマート京成西船駅前店」を新たにオープンいたしました。

その他流通業では、株式会社ユアエルム京成において、「京成千葉中央ビル」のオープンに先立ち、隣接する「千葉中央ショッピングセンターMio」の一部をリニューアルオープンいたしました。また、京成バラ園芸株式会社において、バラ園の入園券と京成線各駅からバラ園までの鉄道・バス各往復乗車券がセットになった「京成ローズきっぷ」の企画により、集客に努めました。

しかしながら、営業収益は233億8千7百万円（前年同期比20.5%減）となり、営業損失は1億6百万円（前年同期は営業利益2千1百万円）となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」の適用により、営業収益は81億4百万円減少しております。

#### <不動産業>

不動産賃貸業では、葛飾区鎌倉の賃貸住宅等が稼働いたしました。また、10月にオープンの「京成千葉中央ビル」の工事を推進したほか、12月にオープン予定の京成リッチモンドホテル東京錦糸町、2022年3月にオープン予定の京成リッチモンドホテル東京押上の工事を推進しております。

不動産販売業では、中高層住宅「サングランド八王子」の全戸引き渡しを完了したほか、今年度末に引き渡し開始予定の中高層住宅「パークホームズ千葉」を販売いたしました。また、中高層住宅「サングランド立石」の販売及び引き渡しを行いました。

以上の結果、営業収益は135億5千5百万円（前年同期比27.2%増）となり、営業利益は44億1千3百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

#### <レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業では、京成ホテルミラマーレ、水戸京成ホテル及び京成リッチモンドホテル東京門前仲町において、テレワーク需要に対応するためのデユースプランを2020年度に引き続き、販売いたしました。また、京成ホテルミラマーレにおいて、直営レストラン3店舗にて、「千葉県飲食店感染防止対策認証事業」における認証を取得いたしました。このほか、京成トラベルサービス株式会社において、感染症の状況を考慮した上で、鉄道車両基地の見学ツアーや、電車の運転士を養成するための課程を体験できるツアー等、多様な旅行商品の企画・催行により、収益の確保に努めました。

以上の結果、2020年度に引き続き、感染症の影響を受けた外出の自粛等により、営業収益は33億9千2百万円（前年同期比21.4%増）となり、営業損失は9億9千1百万円（前年同期は営業損失12億5千4百万円、2億6千2百万円の改善）となりました。

#### <建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事や当社グループ外から受注している各種工事を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は118億8千3百万円（前年同期比13.0%増）となりましたが、営業利益は3億8千万円（前年同期比25.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比140億5千8百万円（1.6%）減の8,866億3千9百万円となりました。これは、減価償却により有形固定資産が減少したことによるものです。

負債合計は、前期末比42億1千4百万円（0.8%）減の5,004億3千8百万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が減少したことによるものです。

純資産合計は、前期末比98億4千4百万円（2.5%）減の3,862億円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により「利益剰余金」が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症が業績に与える影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、第2四半期までの実績を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、公表することといたしました。

当社グループの足元の業績は、緊急事態宣言の解除以降、緩やかな回復基調にあります。従って、今後の見通しについては、ワクチン接種の進展等に伴い経済活動の正常化が進み、段階的に需要が回復していくものと仮定し、業績予想を算定いたしました。

詳細については、添付資料13ページ「3. 四半期決算補足説明資料 連結業績予想」をご覧ください。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、今後の事業展開と経営基盤の強化安定に必要な内部留保資金の確保や業績等を勘案しながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。

2022年3月期の配当予想については、新型コロナウイルス感染症の影響により連結業績予想の合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、当期の第2四半期連結業績及び連結業績予想を踏まえ、厳しい状況であるものの、上記基本方針に則り以下のとおり決定いたしました。

2022年3月期の1株当たり中間配当金につきましては、前期実績と同額の8円50銭とすることといたしました。また、期末配当予想は、前期実績と同額の1株当たり8円50銭とすることといたしました。これにより、1株当たり年間配当予想は、17円となります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,133	31,253
受取手形及び売掛金	21,515	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	21,656
分譲土地建物	6,938	5,927
商品	2,080	2,077
仕掛品	1,063	285
原材料及び貯蔵品	3,491	3,404
その他	15,347	12,762
貸倒引当金	△25	△18
流動資産合計	79,545	77,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	289,092	284,274
機械装置及び運搬具（純額）	26,783	24,752
土地	183,630	183,769
リース資産（純額）	36,587	35,347
建設仮勘定	39,591	41,763
その他（純額）	3,127	2,893
有形固定資産合計	578,812	572,800
無形固定資産		
リース資産	1,117	1,069
その他	12,316	11,728
無形固定資産合計	13,433	12,798
投資その他の資産		
投資有価証券	207,321	201,310
長期貸付金	304	197
繰延税金資産	16,876	17,764
その他	4,132	4,133
貸倒引当金	△167	△166
投資その他の資産合計	228,467	223,239
固定資産合計	820,713	808,837
繰延資産	438	452
資産合計	900,698	886,639

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,059	15,102
短期借入金	52,472	51,526
コマーシャル・ペーパー	4,000	6,000
リース債務	6,609	6,618
未払法人税等	1,616	1,332
賞与引当金	3,382	3,415
その他	61,092	55,067
流動負債合計	147,232	139,062
固定負債		
社債	90,450	100,450
長期借入金	149,109	145,453
鉄道・運輸機構長期未払金	43,541	42,009
リース債務	24,946	23,780
繰延税金負債	1,812	1,984
退職給付に係る負債	35,889	36,054
その他	11,672	11,643
固定負債合計	357,421	361,375
負債合計	504,653	500,438
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,411	28,411
利益剰余金	317,899	307,946
自己株式	△6,184	△6,184
株主資本合計	376,930	366,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,075	2,955
繰延ヘッジ損益	30	27
退職給付に係る調整累計額	△1,397	△1,279
その他の包括利益累計額合計	1,708	1,703
非支配株主持分	17,406	17,519
純資産合計	396,044	386,200
負債純資産合計	900,698	886,639

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業収益	99,501	104,156
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	93,402	89,069
販売費及び一般管理費	18,114	18,813
営業費合計	111,517	107,883
営業損失(△)	△12,015	△3,727
営業外収益		
受取利息	121	114
受取配当金	213	159
雇用調整助成金	1,783	1,004
雑収入	1,039	1,050
営業外収益合計	3,158	2,329
営業外費用		
支払利息	1,214	1,203
持分法による投資損失	9,415	3,811
雑支出	440	388
営業外費用合計	11,070	5,403
経常損失(△)	△19,928	△6,801
特別利益		
投資有価証券売却益	—	300
固定資産受贈益	—	74
工事負担金等受入額	329	59
特別利益合計	329	434
特別損失		
固定資産除却損	145	325
固定資産圧縮損	279	128
臨時休業による損失	306	—
その他	53	—
特別損失合計	785	454
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,384	△6,821
法人税、住民税及び事業税	826	945
法人税等調整額	△2,834	△295
法人税等合計	△2,007	649
四半期純損失(△)	△18,377	△7,470
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△98	315
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,278	△7,786

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△18,377	△7,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△394	△361
退職給付に係る調整額	118	140
持分法適用会社に対する持分相当額	△393	219
その他の包括利益合計	△670	△1
四半期包括利益	△19,047	△7,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,961	△7,791
非支配株主に係る四半期包括利益	△85	319

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これによる主な変更点は以下のとおりです。

## (1) 定期乗車券に係る収益認識

運輸業における定期乗車券に係る収益について、従来は、発売月から一定の期間にわたり収益を認識しておりましたが、有効開始月から一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

## (2) 代理人取引に係る収益認識

流通業における一部の代理人取引に係る収益について、従来は、総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益が8,436百万円、運輸業等営業費及び売上原価が8,270百万円、販売費及び一般管理費が241百万円、それぞれ減少しております。営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は692百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行う上での、新型コロナウイルス感染症の影響については、2021年度以降も影響が一定程度継続するものと仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、当該仮定は、将来の不確実な経済条件の変動等によって影響を受ける可能性があり、仮定の見直しが必要となった場合、連結財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	48,977	29,190	8,155	2,184	8,929	2,064	99,501	—	99,501
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	203	244	2,502	610	1,587	1,375	6,524	△6,524	—
計	49,181	29,435	10,657	2,794	10,516	3,440	106,026	△6,524	99,501
セグメント利益 又は損失(△)	△15,401	21	4,095	△1,254	511	35	△11,992	△22	△12,015

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	56,100	23,188	10,963	2,757	8,871	2,274	104,156	—	104,156
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	282	198	2,591	635	3,011	1,009	7,729	△7,729	—
計	56,382	23,387	13,555	3,392	11,883	3,284	111,886	△7,729	104,156
セグメント利益 又は損失(△)	△7,459	△106	4,413	△991	380	68	△3,694	△32	△3,727

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「流通業」の営業収益が8,104百万円減少しております。その他のセグメントの営業収益及びセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期決算補足説明資料

## ■連結損益計算書

・新型コロナウイルス感染症による影響は残るものの、前年同期と比べ増収となり、収支が改善  
 ・「収益認識に関する会計基準」影響(営業収益): **△84億円** (主な内訳: 流通業△81億円)

単位: 百万円、%		2020.2Q累計 実績	2021.2Q累計 実績	増 減	率	(参考)	
						2021.2Q会計 (7~9月)	対前年同期 増減
運輸業	営業収益	49,181	<b>56,382</b>	7,201	14.6	28,389	869
	営業利益	△ 15,401	<b>△ 7,459</b>	7,942	-	△ 3,915	1,423
流通業	営業収益	29,435	<b>23,387</b>	△ 6,047	△ 20.5	11,563	△ 3,989
	営業利益	21	<b>△ 106</b>	△ 127	-	△ 185	△ 178
不動産業	営業収益	10,657	<b>13,555</b>	2,897	27.2	7,149	2,022
	営業利益	4,095	<b>4,413</b>	317	7.8	2,224	212
レジャー・サービス業	営業収益	2,794	<b>3,392</b>	598	21.4	1,716	167
	営業利益	△ 1,254	<b>△ 991</b>	262	-	△ 494	83
建設業	営業収益	10,516	<b>11,883</b>	1,366	13.0	5,821	832
	営業利益	511	<b>380</b>	△ 130	△ 25.5	18	△ 110
その他の事業	営業収益	3,440	<b>3,284</b>	△ 156	△ 4.5	1,756	△ 272
	営業利益	35	<b>68</b>	33	95.3	89	25
小 計	営業収益	106,026	<b>111,886</b>	5,859	5.5	56,397	△ 370
	営業利益	△ 11,992	<b>△ 3,694</b>	8,297	-	△ 2,262	1,455
連結修正	営業収益	△ 6,524	<b>△ 7,729</b>	△ 1,205	-	△ 4,159	△ 443
	営業利益	△ 22	<b>△ 32</b>	△ 9	-	△ 20	△ 8
連 結	営業収益	99,501	<b>104,156</b>	4,654	4.7	52,238	△ 814
	営業利益	△ 12,015	<b>△ 3,727</b>	8,288	-	△ 2,282	1,446
営業外収益		3,158	<b>2,329</b>	△ 829	△ 26.3	1,039	△ 1,375
営業外費用		11,070	<b>5,403</b>	△ 5,667	△ 51.2	2,911	△ 139
経 常 利 益		△ 19,928	<b>△ 6,801</b>	13,126	-	△ 4,155	209
特 別 利 益		329	<b>434</b>	105	32.0	74	△ 38
特 別 損 失		785	<b>454</b>	△ 331	△ 42.2	220	△ 10
税金等調整前四半期純利益		△ 20,384	<b>△ 6,821</b>	13,563	-	△ 4,302	182
法 人 税	法人税等	826	<b>945</b>	118	14.3	112	△ 219
	同調整額	△ 2,834	<b>△ 295</b>	2,539	-	△ 180	397
	計	△ 2,007	<b>649</b>	2,657	-	△ 68	177
四 半 期 純 利 益		△ 18,377	<b>△ 7,470</b>	10,906	-	△ 4,233	4
非支配株主に帰属する四半期純利益		△ 98	<b>315</b>	413	-	111	35
親会社株主に帰属する四半期純利益		△ 18,278	<b>△ 7,786</b>	10,492	-	△ 4,344	△ 31

## 営業外収益

雇用調整助成金 1,783 1,004 455

## 営業外費用

持分法による投資損失 9,415 3,811 2,160

## ■主要セグメントの内訳

### ・運輸業

単位:百万円、%		2020.2Q累計 実績	2021.2Q累計 実績	増減	率	(参考)	
						2021.2Q会計 (7~9月)	対前年同期 増減
鉄道事業	営業収益	23,710	<b>26,608</b>	2,897	12.2	13,276	275
	営業利益	△ 6,608	<b>△ 3,657</b>	2,950	-	△ 2,142	194
バス事業	営業収益	15,476	<b>18,603</b>	3,127	20.2	9,423	519
	営業利益	△ 6,234	<b>△ 2,748</b>	3,485	-	△ 1,304	840
タクシー事業	営業収益	9,994	<b>11,170</b>	1,176	11.8	5,689	74
	営業利益	△ 2,558	<b>△ 1,053</b>	1,505	-	△ 467	388
運輸業	営業収益	49,181	<b>56,382</b>	7,201	14.6	28,389	869
	営業利益	△ 15,401	<b>△ 7,459</b>	7,942	-	△ 3,915	1,423

### ・流通業

単位:百万円、%		2020.2Q累計 実績	2021.2Q累計 実績	増減	率	(参考)	
						2021.2Q会計 (7~9月)	対前年同期 増減
ストア業	営業収益	17,744	<b>15,984</b>	△ 1,759	△9.9	8,072	△ 804
	営業利益	239	<b>104</b>	△ 135	△56.5	56	△ 66
百貨店業	営業収益	9,510	<b>5,031</b>	△ 4,478	△47.1	2,462	△ 3,163
	営業利益	△ 204	<b>△ 229</b>	△ 25	-	△ 136	△ 84
その他	営業収益	2,180	<b>2,370</b>	190	8.7	1,029	△ 21
	営業利益	△ 14	<b>19</b>	33	-	△ 105	△ 27
流通業	営業収益	29,435	<b>23,387</b>	△ 6,047	△20.5	11,563	△ 3,989
	営業利益	21	<b>△ 106</b>	△ 127	-	△ 185	△ 178

(注)「収益認識に関する会計基準」影響(営業収益):ストア業△23億円、百貨店業△58億円

### ・不動産業

単位:百万円、%		2020.2Q累計 実績	2021.2Q累計 実績	増減	率	(参考)	
						2021.2Q会計 (7~9月)	対前年同期 増減
賃貸業	営業収益	7,319	<b>7,404</b>	85	1.2	3,701	△ 38
	営業利益	4,043	<b>3,976</b>	△ 67	△1.7	1,963	△ 36
販売業	営業収益	1,267	<b>4,254</b>	2,987	235.7	2,629	2,002
	営業利益	△ 52	<b>330</b>	382	-	210	206
管理業	営業収益	2,071	<b>1,895</b>	△ 175	△8.5	818	57
	営業利益	104	<b>106</b>	2	2.1	50	42
不動産業	営業収益	10,657	<b>13,555</b>	2,897	27.2	7,149	2,022
	営業利益	4,095	<b>4,413</b>	317	7.8	2,224	212

## ■連結業績予想

### ■前提

- ・ワクチン接種の進展等に伴い、経済活動の正常化が進む。
- ・成田空港輸送(国際線)は、段階的に回復し、同空港の発着回数は2022年3月にかけて平年の5割程度まで回復する。
- ・成田空港輸送(国内線)は、段階的に回復し、12月には平年並みに回復する。
- ・それ以外の定期外輸送は、段階的に回復し、12月には平年並みに回復する。
- ・定期輸送(通勤)は、テレワーク等による移動需要の減少はあるものの、2022年3月にかけて平年の9割程度まで回復する。
- ・定期輸送(通学)は、2022年3月にかけて平年並みに回復する。

### ■「収益認識に関する会計基準」影響

- ・営業収益: △143億円 (主な内訳: 流通業△170億円、レジャー・サービス業+28億円)

### ■連結損益計算書

単位: 百万円、%		2020通期 実績	2021通期 業績予想		増減	率	
			上期実績	下期予想			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
運輸業	営業収益	104,642	56,382	71,017	<b>127,400</b>	22,757	21.7
	営業利益	△ 25,677	△ 7,459	1,759	<b>△ 5,700</b>	19,977	-
流通業	営業収益	61,185	23,387	24,812	<b>48,200</b>	△ 12,985	△ 21.2
	営業利益	△ 188	△ 106	△ 93	<b>△ 200</b>	△ 11	-
不動産業	営業収益	24,429	13,555	13,544	<b>27,100</b>	2,670	10.9
	営業利益	8,492	4,413	3,986	<b>8,400</b>	△ 92	△ 1.1
レジャー・サービス業	営業収益	6,716	3,392	8,807	<b>12,200</b>	5,483	81.6
	営業利益	△ 2,063	△ 991	△ 108	<b>△ 1,100</b>	963	-
建設業	営業収益	23,353	11,883	16,616	<b>28,500</b>	5,146	22.0
	営業利益	1,166	380	319	<b>700</b>	△ 466	△ 40.0
その他の事業	営業収益	8,364	3,284	4,915	<b>8,200</b>	△ 164	△ 2.0
	営業利益	245	68	231	<b>300</b>	54	22.4
小計	営業収益	228,692	111,886	139,713	<b>251,600</b>	22,907	10.0
	営業利益	△ 18,025	△ 3,694	6,094	<b>2,400</b>	20,425	-
連結修正	営業収益	△ 20,930	△ 7,729	△ 14,670	<b>△ 22,400</b>	△ 1,469	-
	営業利益	△ 31	△ 32	32	<b>0</b>	31	-
連結	営業収益	207,761	104,156	125,043	<b>229,200</b>	21,438	10.3
	営業利益	△ 18,056	△ 3,727	6,127	<b>2,400</b>	20,456	-
経常利益		△ 32,165	△ 6,801	4,601	<b>△ 2,200</b>	29,965	-
親会社株主に帰属する当期純利益		△ 30,289	△ 7,786	2,486	<b>△ 5,300</b>	24,989	-

営業外費用

持分法による投資損失 16,993 3,811 1,288 **5,100**

## ■連結業績予想

## ■主要セグメントの内訳

## ・運輸業

単位: 百万円、%		2020通期 実績	2021通期 業績予想		増減	率	
			上期実績	下期予想			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
鉄道事業	営業収益	49,627	26,608	34,391	<b>61,000</b>	11,372	22.9
	営業利益	△ 11,985	△ 3,657	1,557	<b>△ 2,100</b>	9,885	-
バス事業	営業収益	33,546	18,603	22,896	<b>41,500</b>	7,953	23.7
	営業利益	△ 10,003	△ 2,748	148	<b>△ 2,600</b>	7,403	-
タクシー事業	営業収益	21,467	11,170	13,729	<b>24,900</b>	3,432	16.0
	営業利益	△ 3,688	△ 1,053	53	<b>△ 1,000</b>	2,688	-
運輸業	営業収益	104,642	56,382	71,017	<b>127,400</b>	22,757	21.7
	営業利益	△ 25,677	△ 7,459	1,759	<b>△ 5,700</b>	19,977	-

## ・流通業

単位: 百万円、%		2020通期 実績	2021通期 業績予想		増減	率	
			上期実績	下期予想			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
ストア業	営業収益	35,325	15,984	16,515	<b>32,500</b>	△ 2,825	△ 8.0
	営業利益	289	104	△ 4	<b>100</b>	△ 189	△ 65.5
百貨店業	営業収益	21,276	5,031	5,568	<b>10,600</b>	△ 10,676	△ 50.2
	営業利益	△ 381	△ 229	△ 70	<b>△ 300</b>	81	-
その他	営業収益	4,584	2,370	2,729	<b>5,100</b>	515	11.3
	営業利益	△ 97	19	△ 19	<b>0</b>	97	-
流通業	営業収益	61,185	23,387	24,812	<b>48,200</b>	△ 12,985	△ 21.2
	営業利益	△ 188	△ 106	△ 93	<b>△ 200</b>	△ 11	-

(注)「収益認識に関する会計基準」影響(営業収益):ストア業△46億円、百貨店業△124億円

## ・不動産業

単位: 百万円、%		2020通期 実績	2021通期 業績予想		増減	率	
			上期実績	下期予想			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
賃貸業	営業収益	14,682	7,404	7,795	<b>15,200</b>	517	3.5
	営業利益	7,937	3,976	3,823	<b>7,800</b>	△ 137	△ 1.7
販売業	営業収益	6,140	4,254	4,045	<b>8,300</b>	2,159	35.2
	営業利益	353	330	169	<b>500</b>	146	41.2
管理業	営業収益	3,606	1,895	1,704	<b>3,600</b>	△ 6	△ 0.2
	営業利益	200	106	△ 6	<b>100</b>	△ 100	△ 50.2
不動産業	営業収益	24,429	13,555	13,544	<b>27,100</b>	2,670	10.9
	営業利益	8,492	4,413	3,986	<b>8,400</b>	△ 92	△ 1.1

## ■鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

### ■実績(上期)

単位:千人、百万円、%		2020上期 実績	2021上期 実績	増減	率
輸送人員	定期	67,713	<b>69,493</b>	1,780	2.6
	定期外	33,989	<b>41,927</b>	7,938	23.4
	計	101,702	<b>111,420</b>	9,718	9.6
	うち成田空港発着	(3,415)	<b>(3,874)</b>	(459)	(13.4)
	うち有料特急	(446)	<b>(617)</b>	(171)	(38.3)
旅客運輸収入	定期	8,471	<b>8,464</b>	△7	△0.1
	定期外	8,485	<b>10,992</b>	2,507	29.6
	計	16,956	<b>19,457</b>	2,500	14.7
	うち成田空港発着	(1,788)	<b>(2,553)</b>	(764)	(42.7)
	うち有料特急	(304)	<b>(486)</b>	(182)	(59.8)

### ■業績予想(下期)

単位:千人、百万円、%		2020下期 実績	2021下期 業績予想	増減	率
輸送人員	定期	64,714	<b>74,033</b>	9,319	14.4
	定期外	42,298	<b>55,551</b>	13,253	31.3
	計	107,012	<b>129,584</b>	22,572	21.1
	うち成田空港発着	(3,401)	<b>(7,313)</b>	(3,912)	(115.0)
	うち有料特急	(538)	<b>(1,534)</b>	(996)	(185.1)
旅客運輸収入	定期	8,130	<b>9,169</b>	1,038	12.8
	定期外	10,704	<b>17,298</b>	6,594	61.6
	計	18,834	<b>26,468</b>	7,633	40.5
	うち成田空港発着	(2,060)	<b>(6,122)</b>	(4,061)	(197.1)
	うち有料特急	(393)	<b>(1,341)</b>	(948)	(240.9)

### ■業績予想(通期)

単位:千人、百万円、%		2020通期 実績	2021通期 業績予想	増減	率
輸送人員	定期	132,427	<b>143,526</b>	11,099	8.4
	定期外	76,287	<b>97,478</b>	21,191	27.8
	計	208,714	<b>241,004</b>	32,290	15.5
	うち成田空港発着	(6,816)	<b>(11,187)</b>	(4,371)	(64.1)
	うち有料特急	(984)	<b>(2,151)</b>	(1,167)	(118.6)
旅客運輸収入	定期	16,602	<b>17,633</b>	1,031	6.2
	定期外	19,189	<b>28,291</b>	9,102	47.4
	計	35,791	<b>45,925</b>	10,133	28.3
	うち成田空港発着	(3,849)	<b>(8,675)</b>	(4,826)	(125.4)
	うち有料特急	(698)	<b>(1,828)</b>	(1,130)	(161.9)

(注)輸送人員:千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入:百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

### [参考] 2019年度との比較

#### ・実績(上期)

単位:千人、百万円、%		2019上期 実績	2021上期 実績	増減	率
輸送人員	定期	91,001	<b>69,493</b>	△ 21,508	△23.6
	定期外	62,229	<b>41,927</b>	△ 20,302	△32.6
	計	153,230	<b>111,420</b>	△ 41,810	△27.3
	うち成田空港発着	(11,542)	<b>(3,874)</b>	(△7,668)	(△66.4)
	うち有料特急	(3,169)	<b>(617)</b>	(△2,552)	(△80.5)
旅客運輸収入	定期	11,249	<b>8,464</b>	△ 2,785	△24.8
	定期外	22,860	<b>10,992</b>	△ 11,867	△51.9
	計	34,109	<b>19,457</b>	△ 14,652	△43.0
	うち成田空港発着	(11,225)	<b>(2,553)</b>	(△8,672)	(△77.3)
	うち有料特急	(3,038)	<b>(486)</b>	(△2,551)	(△84.0)

#### ・業績予想(通期)

単位:千人、百万円、%		2019通期 実績	2021通期 業績予想	増減	率
輸送人員	定期	173,808	<b>143,526</b>	△ 30,282	△17.4
	定期外	119,014	<b>97,478</b>	△ 21,536	△18.1
	計	292,822	<b>241,004</b>	△ 51,818	△17.7
	うち成田空港発着	(21,717)	<b>(11,187)</b>	(△10,530)	(△48.5)
	うち有料特急	(6,079)	<b>(2,151)</b>	(△3,928)	(△64.6)
旅客運輸収入	定期	21,702	<b>17,633</b>	△ 4,068	△18.7
	定期外	43,510	<b>28,291</b>	△ 15,218	△35.0
	計	65,213	<b>45,925</b>	△ 19,287	△29.6
	うち成田空港発着	(21,177)	<b>(8,675)</b>	(△12,502)	(△59.0)
	うち有料特急	(5,843)	<b>(1,828)</b>	(△4,015)	(△68.7)

(注)輸送人員:千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入:百万円未満を切り捨てて表示しております。

以上